

YASUTAKA YOSHIMURA MANGARCHITECTURE

Red Light Yokohama X 川勝徳重

Absence of an Architect

TOTO GALLERY・MA
Traveling Exhibition in Kitakyushu

Nowhere but Sajima X コルシカ

フクヌベース X 三池画丈

滝ヶ原チキンビレッジ X メグマイルランド



TOTOギャラリー・間
北九州巡回展

吉村靖孝展 マンガアーキテクチャ——建築家の不在

窓の家 X 徳永 葵

ホームトゥーゴー#001 X 宇曾川正和

VERTIPOINT X 座二郎

2025.12.2 | 火 | — 2026.3.8 | 日 | TOTOミュージアム

開館時間: 10:00-17:00 (入館は16:30まで) 休館日: 月曜日・年末年始 [2025年12月27日(土) - 2026年1月5日(月)] 入館無料

主催: TOTOギャラリー・間 / TOTOミュージアム 協力: 早稲田大学 吉村靖孝研究室

企画: TOTOギャラリー・間運営委員会 (特別顧問=安藤忠雄、委員=貝島桃代 / 平田晃久 / セン・クワン / 田根 剛)

後援: (一社) 日本建築学会九州支部 / (公社) 日本建築家協会九州支部 / (公社) 福岡県建築士会 / (一社) 福岡県建築士事務所協会





マンガアーキテクチャ——建築家の不在

90年代の終わりに大学院を休学してMVRDV^{*1}という設計事務所で働きはじめたとき、彼らがつくる模型がOMA^{*2}の模型と似すぎていて驚いたのだが、のちにそれは同じ模型屋の仕事と知り、二度驚いた。模型をつくるのが建築家の仕事ではなくっていることにも、はたまた違う建築家同士が模型のテイストを共有しうることにも驚いたのである。

もはや模型は、建築家を表現するものとは言い切れなくなった。自らの手で図面を引く建築家も今では稀だろう。建築家の作家性というときの「作家性」とはいったい何なのだろうか？

そこでTOTOギャラリー・間での展覧会という、まさに作家の自己表現が問われる舞台上、あえて作家性を消してみることにした。今回注目したのは、模型でも図面でもなく「漫画」というメディアだ。僕が設計した7つのプロジェクトをとりあげ、7人の漫画家に依頼してそれぞれ建築から発想される世界を描いてもらった。

実は僕は3年前に脳出血を発症し、今も後遺症と格闘しているのだが、その病気が治癒する期間とTOTOギャラリー・間の展覧会をつくりあげる期間がぴったり重なってしまったことも、この展示案を後押ししたと言えるだろう。創意を尽くして描かれた漫画が建築家の想像を軽々と超えていくさまを、ぜひとも体験していただきたい。

吉村靖孝

出展漫画家 × 出展プロジェクト（建築作品年代順）

- コルシカ × Nowhere but Sajima (2008年)
- 川勝徳重 × Red Light Yokohama (2010年)
- 徳永 葵 × 窓の家 (2014年)
- 三池画丈 × フクマススペース (2016年)
- 宇曾川正和 × ホームトゥーゴー #001 (2019年)
- メグマイルランド × 滝ヶ原チキンビレッジ (2021年)
- 座二郎 × VERTIPORT (進行中)

1. Nowhere but Sajima (神奈川県、2008年) 2. Red Light Yokohama (神奈川県、2010年)
 3. 窓の家 (神奈川県、2014年) 4. フクマススペース (千葉県、2016年) 5. ホームトゥーゴー #001 (2019年)
 6. 滝ヶ原チキンビレッジ (石川県、2021年) 7. VERTIPORT (進行中)
 1-6. ©Yasutaka Yoshimura 7. ©吉村靖孝建築設計事務所
 *1. オランダのロッテルダムを拠点とする建築家集団。1991年に設立された。3名のボスがいるが、そのうち2名はOMA出身。
 *2. オランダのレム・コールハースらによって1975年に設立された建築設計事務所。

吉村靖孝（建築家）

1972年愛知県豊田生まれ。1995年早稲田大学理工学部建築学科を卒業、1997年同大学院修士課程修了。1999-2001年文化庁派遣芸術家在外研修員としてオランダのMVRDVに在籍。2005年吉村靖孝建築設計事務所を設立。2013-18年明治大学特任教授。現在、早稲田大学教授。吉岡賞（2006年）、アジアデザイン賞（2009年）、グッドデザイン賞特別賞（2010年）、住宅建築賞金賞（2010年）、JCDデザインアワード大賞（2011年）、日本建築学会作品選奨（2011、2014、2018年）、AP賞（2014年）、WADA賞（2016年）、日本建築設計学会賞大賞（2018年）など受賞多数。主な著作に「超合法建築図鑑」（2006年／彰国社）、「EX-CONTAINER」（2008年／グラフィック社）、「ビヘイヴィアとプロトコル」（2012年／LIXIL出版）など。



吉村靖孝講演会

「『建築家の不在』とは何か？」

日時：2025年12月1日（月）17:00開場、18:00開演、19:30終演（予定）
 会場：TOTOミュージアム 定員：150名 参加方法：参加無料／事前申込制
 TOTOギャラリー・間ウェブサイト（<https://jp.toto.com/galleryma>）より申し込みください。
 申込期間：2025年9月24日（水）～11月9日（日）
 応募者多数の場合、抽選の上、11月21日（金）までに結果をご連絡いたします。
 注意事項：当講演会では未就学のお子様連れのお申し込みはご遠慮いただいております。

関連書籍

『MANGARCHITECTURE（マンガアーキテクチャ） 建築家の不在』

著者：吉村靖孝 発行年月：2025年1月 発行：TOTO出版（TOTO株式会社）
 お問い合わせ：TEL 03-3497-1010 <https://jp.toto.com/publishing>



アクセスについてはこちら



TOTOミュージアム：〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
 TEL. 093-951-2534 <https://jp.toto.com/knowledge/visit/museum/>
 （バス）JR小倉駅小倉城口のバスセンターから約15分 貴船町バス停下車
 ※ご来館の際は、TOTOミュージアムウェブサイトにて最新情報をご確認ください